

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

- ・基本項目は全てに記入いただくこととしています。ただし、業種・業態等により全く該当しない場合は、非該当欄にチェックを入れて、「具体的な取組」欄に非該当の理由を記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
- ・「企業」や「社内」とあるものについて、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

## SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は全てに記入いただくこととしています。ただし、業種・業態等により全く該当しない場合は、非該当欄にチェックを入れて、「具体的な取組」欄に非該当の理由を記載してください。  
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものについて、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

分類	非該当	No.	チェック項目	基本 チャレ ンジ	具体的な取組 (記載欄)	参考: 具体的な取組の記載例	参考: ステップアップを目指すための ガイドライン、高度な取組例など	参考: チェック項目と主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) の関連性																	
								1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
地域貢献・社会貢献	□	26	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	コロナ流行時、日本中でマスクが不足した時に、社内の設備や社員の得意分野を活用してフェイスシールドを作成し、行政や医療機関に寄贈した。	・地域清掃やお祭りなど、地域の活動に参加している。 ・自社主催のお祭りに地域住民を招いている。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	□	27	【地域の特性に基づいた地域防災力の強化（共助）】 ・地域の特性を踏まえた上で、防災教育や避難訓練への参画、備蓄品の購入や管理、その他災害時の応急対策や復旧の備えなど、地域と連携した取組を推進している。	●	社内防災訓練・避難経路確認を年1回行っている。 訓練の結果や改善点を内部コミュニケーション記録を発行し、記録している。	・富士市と防災協定を結んでいる。 ・備蓄品の用意を行っている。	・従業員へ防災教育を行っている。 ・避難訓練に毎年参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1		16	17		
	□	28	【地域の学びの場づくり】 ・地域の人びとの学びの場をつくる取組を実施・参画・支援するなど、組織の特性を活かして関わっている。	●	全日本学生フォーミュラ大会出場校のサポート活動として、技術支援を無償で行っている。	・キャリア教育に協力している。 ・社屋の研修施設を地域に貸し出している。																			
	□	29	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	全従業員を対象としたSDGs勉強会を実施している。 キックオフ宣言時、市政いきいき講座を利用し、富士市総務部企画課の方に富士市の取組や展開を紹介していただいた。	・従業員向けにSDGsに関する勉強会や研修会を実施している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	□	30	【若者の就業や定着支援】 ・若者の就業や、移住を含む定着を促すため、インターンシップの受け入れやスキルアップを含めた自己実現を支援する取組を推進している。	●	小中学生向けの職業講話を積極的に受け入れる。	・高校生や大学生のインターンシップを受け入れている。 ・従業員の奨学生金返還支援を行っている。					4.4				8.5 8.6		10.2							17	
	□	31	【地域課題の解決】 ・自社の強みや特性を活かして、地域の課題解決や活性化に取り組んでいる。	●	SOLAE（航空機産業協同受注プロジェクト）に参加している。	・自社の販売網を活かして授産品の販路拡大に協力している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
公正な事業慣行・組織体制	□	32	【経営理念の共有】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●	経営理念が明文化されている。 経営者が、全従業員や外部関係者を対象とした今年度の経営分析と次年度の経営計画の発表を年1回、開催している。	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を従業員に説明している。										8	9							17	
	□	33	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●	コンプライアンスマニュアルを策定する為の準備を行う予定。	・コンプライアンスマニュアルを策定し、法令遵守の重要性を従業員に周知している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																		16	
	□	34	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●	公正な取引に対する行動規範を定める為の準備を行う予定。	・公正な取引に関する行動規範を定めている。 ・行動規範に基づくチェック体制がある。																		10	16
	□	35	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●	エコアクション21・SDGsの事務局を設置し、運用を行っている。	・責任者（担当役員）、CSR管理者を任命している。																			16
	□	36	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●	客先から提供される図面や品物を無許可で下請け企業に仕事を依頼したり、それをスマートフォン等で撮影し、SNS等にアップロードしないようにしている。	・特許、商標などの侵害排除に関して、規程を設けている。 ・知的財産に関する勉強会を開催している。									8.2 8.3	9									16
	□	37	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●	住所録や連絡網など、個人情報が記載される媒体は、個人に許可を得てから社内で公開する。また、公開された内容は第三者が閲覧できないように管理を徹底している。	・個人情報の取扱いに関する基本方針を定めている。	・従業員に対して情報セキュリティに関する研修を行い、従業員の情報管理リテラシーを定期的にチェックしている。																	16	
	□	38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（利害関係者：従業員・消費者・取引先・投資家・社会全体）からの要請や意見を聞く体制を整え、適切に対応するなど、公正で良好な関係の構築に取り組んでいる。	●	お客様アンケートを実施している。	・定期的にお客様アンケートを実施している。 ・お客様相談センターを設置している。 ・クレームを公表している。 ・CSR活動をホームページで掲載している。																		16	
	□	39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している。	●	労働安全衛生推進者をリーダーとして、事故リスク低減の為、社内で発生したヒヤリハット事例を集計し、全従業員で共有する活動を行っている。	・社内で起こり得る事故リスクを洗い出し、従業員に周知している。 ・ヒヤリハット事例を社内で共有している。											9	11	13.1					16	
	□	40	【災害や事故への備え（自助）】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	BOPを社内で策定し、認定されている。	・災害時に従業員の安否確認できる体制を整えている。 ・地震及び津波を想定して、BOPを策定している。										9	11	13.1					16		
	□	41	【気候変動適応策の策定】 ・気候変動による影響に対して、企業の事業や経営の適応策を策定し、取り組んでいる。	●	会社の建築物の耐震補強工事・防水工事を適時行っている。	・従業員の熱中症対策に取り組んでいる。 ・温暖化により豪雨や台風による水害が激甚化するおそれがあることを踏まえて、浸水対策を講じている。	・環境省の気候変動適応ガイドラインを参考として、気候変動適応策を社内で検討している。																	17	
	□	42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	従業員同士でワークシェアを行っている。教える側と教わる側で計画を立て、進捗状況をチェックシートに記載する事で、熟練度を向上させている。	・後継者の育成計画を作成し、検討を進めている。										8	9								17
		20	22																						